



憧れの羽田空港に胸はずむ。

賀茂小学校修学旅行

津波避難タワー建設へ

2・3

決算を認定

4・5

産地直売所新築工事契約

7

一般質問

9~15

9月18日、賀茂小学校6年生が修学旅行でANA機体工場を訪れました。

議会だよりは、西伊豆町ホームページでも御覧になれます。

津波避難タワー建

開催期間	9月3日から9月13日まで
審議した案件	町長提出議案 14件
可決した主な議案	一般会計補正予算（第4号）・介護保険事業特別会計補正予算（第2号）・津波防災ステーション（安良里）工事請負契約・仁科地区農林水産物等産地直売所設置条例の制定についてなど

こんなことが、決まりました。

一般会計補正予算 （第4号）（全員賛成）

主として、ふるさと納税返礼事業費3億256万4千円、津波避難タワー等工事費1億600万円、基金積立金6億1842万3千円とその他事業費と併せて、総額10億8680万5千円を追加補正するものです。

安良里地区津波避難タワー 及び防火水槽工事 1億5400万円

問 年度をまたいだ工事となる理由は。また発注時期と完成時期は。

答 当初、仁科地区、安良里地区を計画しましたが、建設費が高騰し交付金を増額してもらう必要が生じまし

た。

安良里地区は年度をまたいだ工事となり、発注は10月か11月を、完成は来年5月頃を予定しています。

防災力向上事業先進地視察 研修補助金 170万円

問 視察費としては高額だが内容は。

答 地域防災計画の作成と防災に役立たせるために区長、防災委員、約30名が防災先進地の和歌山県串本町、紀宝町に視察の予定です。

住宅・店舗リフォーム等 補助金 300万円

問 当初予算で既に500万円計上しているが、工事实績は。

答 現在までに、30件の申し込みがありました。

予算は451万2千円を支出しており、残り48万8千円となっています。

西天城高原大型遊具解体

工事 1000万円

問 遊具解体工事の隣接地でダチョウが飼育されているが、解体後飼育規模の拡大はないのか。

答 現在、飼育規模拡大の計画は聞いていません。

斎場建設に係る意見書作成費 5万4千円

問 事業内容は。

答 建設をするにあたり、候補地（田子地区）周辺の土地価格への影響についての意見書を不動産鑑定士に調査依頼をし、住民説明会資料としたいです。

設へ

◎仁科津波避難タワー(仁科バス停隣接地)は発注を10月に行い来年3月完成予定です。

◎安良里津波避難タワー(旧安良里診療所跡地)は同じ場所に防火水槽も設置します。
建設費の高騰により工事費全体の予算不足が生じたため、発注を10月又は11月に行い来年5月完成予定です。

多面的機能支払い交付金

36万8千円

問 事業の内容は。

答 宇久須地区の農地保全のために、会員が行う農地の法面の草刈り、水路の泥上げなどに係る費用を補助します。
会員は84名です。

介護保険事業特別会計補正予算(第2号) (全員賛成)

年度末精算により過分となっていた交付金428万円を国に返還するものです。

津波防災ステーション工事(安良里)請負契約締結 (賛成8:反対1)

陸間遠隔操作の自動化工事3基、陸間監視自動化の工事3基併せて7480万円の請負契約です。

問 高額な工事の必要性は。

答 自動化で陸間は震度5強以上で自動的に閉まりますので安全性が増します。

問 安良里漁港の津波対策工事の終了時期は。

答 令和3年の予定です。

仁科地区農林水産物等直売所設置条例の制定 (賛成8:反対1)

産地直売所の利用料金・禁止行為など運営に関して定めるものです。

問 委託販売の利用料金を30%にしているが高いのでは。

答 あくまでも30%は上限であって20, 10, 5%でも構いません。

反対 施設が農林水産の発展に繋がるとは思えない。

将来町の大きな負担となると考えるので反対。

賛成 第1次生産者が町の多くの持続可能な部分を支えている。

農林水産販売所があれば、第1次産業者の発展と、町の経済の拡大が期待できるので賛成。

印鑑条例の一部を改正する条例 (全員賛成)

女性活躍の推進に向け住民票等に旧氏と現在の氏の併記が可能となる法改正が行われました。それに伴い印鑑登録証明書にも旧氏の併記を可能

とするものです。

情報公開条例の全部を改正する条例 (全員賛成)

静岡県情報公開条例に運用面で合致する改正です。

条文の追加や言い回しの修正が多いので、全部改正とするものです。

個人情報保護条例の全部を改正する条例 (全員賛成)

実務的な手続きについて、実状と齟齬が生じていることから改正します。

条文の追加、削除、入れ替えが多くあるので、全部を改正するものです。

災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 (全員賛成)

条例の災害援護資金を借る場合に保証人を必要とし、償還期間の年賦償還、半年賦償還に月賦償還を追加するなどの改正をするものです。

平成30年度

一般会計
特別会計
企業会計

決算を認定

一般会計の決算は、実質単年度収支383万5千円の赤字。

歳入においては、地方消費税交付金の微増はあるものの、ふるさと納税が7億4737万6210円と前年比33.4%の減、また町税、地方交付税、国庫支出金・県支出金も減、町債も臨時財政対策債などの減により決算額は昨年比べて8億1380万2千円減少し、総額63億6930万3千円となりました。

歳出では、地域商社事業設立・普及業務委託、漁港内航路浚渫工事、坂本川改修工事などが実施され、総額60億9885万7千円となりました。

30年度決算の差し引き残額は、2億7044万6千円になったものです。

一般会計 (賛成8：反対1)

問 有権者の少ない投票所の統合について協議しているが、内容は。

答 移動バスを使っただけの投票所開設など先進地事例を参考に協議を始めました。投票所の実数はかわっていません。



利用しやすい制度へ見直しを!!

問 地域商社事業の今後の予算付けと取り組みは。

答 町費の支出予定はありませんが、販路拡大事業は引き続き行い、事業者との関わりは続けていきます。

問 学校・園の古紙類回収は保護者等の負担となっている。買い取りの補助金単価の増額は。

答 軽減を図るため、古紙回

収に替わる補助を協議し、一部では実施しています。

問 回収実績のある廃食用油の収入がないが、詳細は。

答 無料引き取りなので記載しませんでした。実績は3760リットルで、今後数量を記載します。

問 高校生交通費助成金の利用者が少ない。利用実態や意見、今後の対応は。

答 保護者が送っていくことが多いようです。

定期だけでなく回数券の希望もあり、補助率を含め改善を考えたいです。

問 堂ヶ島の天窓洞点検業務実施において、火祭りの花火での振動の影響は。

答 影響はわかりませんが、様々なことを考慮し、現状での打ち上げが適切と考えます。

△383万5千円(一般会計) 実質単年度収支赤字

国民健康保険特別会計 (全員賛成)

問 すすく医療費助成実施による、国庫支出金減額の広域化での影響は。

答 従来は100万円ほどの減額でした。県内全ての市町が実施していますが、県交付金から減額されているものと考えます。

問 運営主体が県になり、運営協議会の必要性は。

答 国民健康保険税の賦課税率等は市町の決定事項で、協議会は必要です。

後期高齢者医療特別会計 (全員賛成)

問 保険料軽減特例の見直しの改正内容は。

答 社会保険や共済組合などの被扶養者から後期高齢者医療制度の被保険者に移られた方に対して、継続中の軽減措置が31年度から2年間となります。

介護保険事業特別会計 (全員賛成)

問 県支出金の増額は、静岡県が介護給付費の見直しを大きくしたとあるが、理由は。

答 毎年11月ころに、各市町はその年の給付費の決算見込み額を県に報告しますが、県は国からの給付費の割り当てにより調整しているものと考えます。

問 介護認定審査会第3合議体は何名で審査をするのか。

答 医師・介護施設職員・薬剤師など5名です。

水道事業会計 (全員賛成)

問 水道事業ビジョン・経営戦略の計画期間は。

答 平成29年度から56年度までの28年間ですが、5年毎に事業の進捗状況について点検及び評価を行い、計画を見直します。

問 資本的収支で収入の他会計繰入金、支出の改良費の工事請負費が0円になった理由は。

答 配水池耐震工事のような補助対象になる事業がなかったためです。

温泉事業会計 (全員賛成)

問 宇久須温泉の今後の見通しと新規加入対策は。

答 高齢者世帯、独居世帯の増に伴い減少すると思いますが、加入促進のPRに努めます。

問 料金未納者対策は。

答 督促状や勧告書を送付し、手順を踏んで給湯停止しますが、営業用の実行例はありません。



水道事業を長期的視点で経営を

監査委員からの提言

平成30年度 監査委員意見（抜粋）

監査委員 山本 豊・高橋 敬治

審査の主眼点

- (1) 町長から提出された決算書、その他関係書類の様式は法令に準拠し計数は正確か。
- (2) 財政運営及び資金収支は健全かつ効率的に行われているか。
- (3) 経費の支出限度が事業目的を達成するための必要最小限にとどまり節約の姿勢が伺えるか。

審査の結果

決算係数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果誤りのないものと認められた。
また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており誤りのないものと認められた。



コンビニで住民票、印鑑証明書が取れます

一般会計

窓口税務課

住民票・印鑑証明のコンビニ交付について
昨年度からの新規事業であり、町の議会議員も注目しているので、議会で質問があっても良いように、この事業者のこの店舗で何枚の発行があった等の詳細な数字を把握しておくこと。

委託料の不用額について

総務費・徴税費・税務総務費の委託料については、176万2千円ほどが不用額となっている。委託料の不用額としては大きいので、内容を調査すること。

健康福祉課

交通費の助成について

配布方式から購入方式に変更したことにより、利用者数や利用金額がどのように変化したか実績を記載すること。

環境課

最終処分場処理水について

建設当時の有害物質の数値と建設から20年以上経過した現在の数値の変化について把握しておくこと。

教育委員会事務局

特色ある学校づくり推進費について

よく有効活用されている。

各校とも予算流用等により執行率も高い状況である。

国民健康保険特別会計

制度改正に伴う減額補正について

国民健康保険制度の県単位に行われた減額補正を成果説明書に記載すること。

介護保険事業特別会計

一般介護予防事業について

活動指標に「介護保険事業説明会」が記載されているが、成果指標に事業実施による成果の記載がない。

健幸マイレージ事業の実施と併せて介護給付費の縮減に向けた重要な事業の一つであるので、丁寧に記載すること。

第4回臨時会
令和元年7月16日

農林水産物直売所新築工
事請負契約の締結
(賛成7：反対2)

伊豆漁協仁科支所近くに建設し、3月中のオープンを目指します。

契約額 1億4850万円

工期

着工：令和元年7月17日

完成：令和2年2月28日

工事概要 木造1階建て
延べ床面積292.35㎡

問 入札方法と応札した業者数は。

答 一般競争入札で3者でした。

問 建物には、従業員用トイレしかないが、お客様の利用方法は。

答 隣接の公衆用トイレを利用させていただきます。

問 サービス業たるもの、お客様を優先するべきで、順序が逆さまではないか。

答 トイレを併設するには補助金などの弊害があり、従業員用トイレ以外は造れないことになっています。

問 運営の中身がはっきりしていない。

中身が分からないまま賛成はできない。

2、3年後に運営できなかった場合の責任の所在は、町長か。

答 責任の所在は全て私にあると思います。

責任は、4年に一度の選挙で問われるのではなからうかと感じています。

反対 建設には、補助金・交付金がらみで非常に制約を受けており、お客様主体の施設にはならないのではなかいか。

また、運営委員会での協議が決まらないうちに発注するのでは、運営の中身が分からない。

「きちりとした方向で売るんだ」「ふるさと納税の拠点にしたいんだ」とPRをしていかないと、施設だけで運営が厳しくなるのではないかと考え反対。

賛成 第1次生産者、農業、漁業は高齢化と後継者不足で、非常に厳しい現状が続いている。

産地直売所ができ、農産物や魚介類が販売できたなら、第1次生産者にとって大変心強いと思う。

また、流通も地産地消ができたなら、町の内需の活性化にも寄与するものと考ええる。

若い農業後継者のためにも産地直売所を建設し、持

続可能な未来に向かって、西伊豆町を変えていくためには、無くてはならない施設と考え賛成。

反対 産地直売所の運営の仕方が分からない。

費用対効果を考えると、当初計画されている売上金額まで行くのか、非常に乖離する可能性が高いと感じ反対。

賛成 産地直売所は、「持続可能な第1次産業の基盤づくりのため」「観光の魅力を向上させるため」「ふるさと納税を獲得するため」「自力で町外の資本を獲得できる持続可能な町をつくること」にある。

ふるさと納税に活路を見出し恩恵を受けてきましたが、未来永劫続くわけではない。

何とかして外貨を獲得するための有効な手段になると考え賛成。

一般会計補正予算
(第3号)

(全員賛成)

幼児教育保育無償化システム改修事業に605万円を追加するものです。

全額国庫補助になります。

問 改修のメリットは。

答 対象者の抽出が容易になり、国等への報告が円滑に、正確になります。

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	堤 豊	山 本 智 之	芹 澤 孝	高 橋 敬 治	加 藤 勇	山 田 厚 司	西 島 繁 樹	堤 和 夫	山 本 榮	増 山 勇	議決結果
第4回臨時会	元年度 農林水産物直売所新築工事請負契約の締結 [契約金額 1 億4850万円]	×	-	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
	元年度 一般会計補正予算(第3号) [605万円を増額するもの]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9 月 定 例 会	元年度 農山漁村地域整備交付金 津波防災ステーション工事(安良里地区) 請負契約の締結 [契約金額7480万円]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
	仁科地区農林水産物等直売所設置条例の制定	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
	印鑑条例の一部を改正する条例	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	情報公開条例の全部を改正する条例	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	個人情報保護条例の全部を改正する条例	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	元年度 一般会計補正予算(第4号) [10億868万5千円を増額するもの]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	元年度 介護保険事業特別会計補正予算(第2号) [428万円を増額するもの]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成30年度 一般会計決算認定	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	認定
	平成30年度 国民健康保険特別会計決算認定	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成30年度 後期高齢者医療特別会計決算認定	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
平成30年度 介護保険事業特別会計決算認定	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
平成30年度 水道事業会計決算認定	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
平成30年度 温泉事業会計決算認定	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	

議長(山本智之)は採決に加わりません。

埋め立ては計画通りか

(町長) 下から積み上げ完了させる



堤 和夫 議員

質問 鷹ノ巣残土処理場の残土は、現在までで、どの位搬入されたか。

町長 令和元年7月末現在で25060m³です。そのなかに下田市内の残土500m³(県工事)が搬入されています。

質問 土地利用計画における埋め立てが、計画どおりに行われていないのでは。

町長 下からしっかり積み上げて、積み上げたところにU字溝をはわせて、計画どおりに完了させるよう処理場を管理する合同会社が行っています。

ヒナ飼育の地区報告は

していません

質問 6月定例会で「基本的には一色地区でダチョウのヒナを飼育しない。」と答弁しているが、町内会への報告は。

町長 今までのようにグラウンド的などではなく、建物内飼育であるので、町内会には報告していません。

質問 鳥獣被害が深刻な昨今鹿・猪などの解体処理をしてもらえるのは非常に有難い。積極的に支援しては。

町長 補助金や資金融資を受けるためなど、町ができる支援は既にやっています。

ジオ観光客数の推移は

ジオリアでは2倍

質問 一色枕状溶岩の管理が今までのボランティアでは管理できなくなっている。

町が積極的に管理に参加できないか。

町長 今年度、清掃活動者の

ボランティア保険代を町が負担しています。

質問 世界ジオパークに認定されてから一年が過ぎ、ジオツアーは盛況という報道があった。

ジオ関連の観光客数の推移を把握しているのか。

町長 西伊豆町への来訪者の推移は把握できませんが、修善寺のジオリアでは、前年比2倍近くになりました。

平成30年度「堂ヶ島ジオめぐり」は7月から3月までで1574人の利用がありました。今年も9月から3月に行う予定です



ボランティアで清掃



鷹ノ巣残土処理場

上部の土は何故移動出来ないか

(町長) 契約に不備があれば変更も

高橋 敬治 議員

質問 専門家に相談の結果は。

町長 現状では安定状態にあり、豪雨時にも対応できると予想されますが、必要ならボーリング調査などで詳細な判断をとることでした。

質問 納得できない。管理者は現状受入土が不足2段目が出来ないというが、上部の残土約5万m³を何故下部に移動出来ないのか。

町長 管理会社には既に入っている土の上に残土を受け入れていくと契約時に話しているの、途中から受け入れて下から積んでいます。

質問 既に入っている上部の災害残土などや漁港浚渫土と新たに受け入れる残土をブレンドし、下部から締固めながら積んでいくべきだ。

町長 それが正攻法と理解しておりますので、契約に不備があれば変更もあり得ます。場合によっては町の費用持ち出しもあるかもしれませんが、下流の方々の心配を考えればやらなければならないのではと考えます。

各種森林整備補助金は

上乗せを検討したい

質問 現状の各種森林整備事業への町の補助を先進市町並みに上乗せできないか。

町長 他の市町の状況を確認し、法律の許す限り上乗せを検討したいです。

質問 森林環境譲与税を使うための第一歩は森林所有者の意向調査だが、どのように進めるのか。

町長 整備の優先順位を決め、緊急性の高い森林所有者から進めたいです。

質問 順位決定までには時間もかかるので、すでに森林経営計画が策定されているが事業者では契約が貰えなかったり、連絡の取れなかった所有者を先ずは優先して実施したらどうか。

町長 町への委託ならOKの場合もあるかもしれないのでまずは進めてみたいですね。

質問 寄付の希望があったらどう対応するのか。

町長 整備の緊急性、必要性が高いものは有益だが、様々なリスクもあるので寄付を受けるかは個別事案ごとに考えたいです。



本当に豪雨時にも対応できますか

老朽化した側溝・蓋の更新を

(町長) 緊急性の高いものから



堤 豊 議員

質問 町内各地において、側溝・蓋が老朽化しており更新への地区要望が多い。

- ①耐用年数を経過した箇所が目立つ。
- ②蓋部分が、劣化して音がうるさい。
- ③側溝の中に、異物などにより詰まりが発生し悪臭が発生することがある。

これら老朽化が著しい現状を把握しているのか。

また、更新整備については。

町長 現地確認は実施しており、危険度・重要性の高い物から更新しています。

行政はここで買ってくれとはいえません。

町が行う事業は、町内調達を基本としています。

子供の人材育成は

誇りと郷土愛を持たせる

質問 地域の子供たちには、自分が生まれ育った故郷に定住し、地域を担う人材に成長してくれることを期待する。

伊豆に訪れた観光客に対しても「あいさつ」「感謝の気持ち」が持てることが大切である。

町は子供の人材育成に力を入れては。

町長 人にあったら挨拶をするのは当たり前です。

しかし、最近では知らない人から声をかけられたら不審者かもしれない。その場を離れて逃げる時代です。

挨拶したら「はたかれた」生徒がいたとの事例もありました。

人材育成することは重点目標であり、園から小学校、中高一貫教育を通じて地元を誇りを持ち、郷土愛を育む学習に取り組んでおります。

小売店廃業への対応

市場経済で仕方ない

質問 スーパーやコンビニの出現により、地元の小売店を利用しないケースがあり、廃業に至った店舗がある。現状の流れに対し、町は。

町長 市場経済のなかでの流れで、安く買えるほうへ行くのは仕方ありません。



側溝の更新を



加藤 勇 議員

新校舎に防災機能整備は

(町長) 可能な限り整備したい

質問 統合小中学校の開校と統合認定こども園の開園が、令和6年に計画されているが、校舎などに防災機能を備え、避難所として活用できる施設整備は。

町長 検討しています。

質問 内容は。

町長 可能な限り災害対策に必要な防災機能を備えた拠点施設の建設を目指し、校舎全体を避難所としての活用や屋外に備蓄倉庫を建設したいです。

校舎建設に合わせ、役場の防災課や電算センター、防災行政無線の移転なども検討したいです。

質問 体育館には多くの方々が避難するが、非常用発電施設の設置で、避難者の安心安全につながるが。

町長 体育館だけでなく、校舎全体に備えたいです。

災害時の電力が賄われるよう、屋上への非常用発電装置の設置、地産地消が可能なバイオマス発電設備の整備も検討したいです。

質問 校舎建設などの検討状況は。

町長 昨年度、建設予定地の測量を行いました。

現在、津波浸水高さを満たすための造成計画地の地質調査を行っており、完了後、施設の規模や配置計画の検討を行います。

質問 建設に向けて、さまざまの問題や検討事項が発生すると考えるが、教育委員会事務局の施設整備係2名で対応できるか。

町長 他課との相談や県の指導を受け、対応できると考えています。

認定こども園建設は

津波を受けない高さに

質問 認定こども園の建設は。

町長 園舎は、津波浸水を受けない高さまで盛り土をした上に建設します。

想定外対策として、地続きで裏山の高い所に逃げる事が出来る避難路整備も考えています。

質問 地域住民の避難は。

町長 校舎が安全な高さになりますので、生徒と共に校舎内に避難出来るように検討します。



統合小中学校等の建設予定地

産地直売所は水産加工業者と連携を

(町長) 相乗効果を図れる拠点に



山田厚司 議員

質問 産地直売所は水産加工業者との連携を密にして、活性化拠点とすべきでは。

町長 主旨は理解しますが、取扱商品については、現在調整中です。

さらに相乗効果を図れる拠点としていきたいです。

質問 定例イベント、レシピの提案などの企画で販売促進するというが、どこが主催するのか。

町長 産地直売所が行うことになります。

ただ、活動により町も一緒に参加して行うこともあると考えます。

質問 プロモーションなどの運営について、明確な線引きがないと、先々行き詰ることにならないか。

町長 プロモーションは、指定管理者が行っていくことになります。

町のPR活動を連携する必要もあり、線引きはしない方が良く考えます。

質問 近隣市町の直販所立ち上げ時でも順調になるまで、

行政が手助けしたと聞くと、そのような考えは。

町長 初期の段階で地方創生交付金を投下することは、説明してきました。赤字が継続した場合は、その時点で検討せざるを得ないとか現状ではいえません。

乗合タクシー制度構築は

現状路線維持のため難しい

質問 民間タクシー業者に委託しての乗合タクシー制度の構築は。

町長 既存バスの宮ヶ原線補助基準や平均乗車率を考え

ると難しいです。現状路線は維持したいです。

質問 交通実態を把握する現状調査の状況は。

町長 神田線、宮ヶ原線を混合した試算では運転業務費で1350万円、これに車輛購入費などが必要です。

乗車率は、宮ヶ原線で平均0.5人です。また南伊豆、西伊豆地域公共交通協議会が実施した順天堂病院への乗り継ぎ実証実験でも、空車率が46%と高いです。

質問 今後の実証実験は。

町長 財政面、費用対効果など見極めが必要です。



産地直売所建設地、皆で活性化拠点に



増山 勇 議員

太陽光発電事業は

(町長) 町の抑制区域外

質問 現在、大沢里地区で計画されている太陽光発電事業は、昨年制定した「西伊豆町自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」の抑制区域ではないのか。

町長 抑制区域ではありません。

質問 町としての抑制区域の考え方は。

町長 史跡・名勝・自然公園などで、景観を阻害するところを考えています。

質問 地元への事業説明会の状況は。

町長 正式に申請されていませんが、事前協議で地元の了解が必要と伝えています。

事業者からは、すでに地元の大城地区を対象に2回説明会を開催し、大城・宮ヶ原町内会長の同意をもらいましたとの話を受けています。

質問 事業以外の伐採されている土地については、どう考えているのか。

町長 そもそも平成26年から

29年に「天然更新」で伐採許可を受けて伐採した土地で、その後、太陽光発電事業者が取得したものです。

事業者は、残りの土地については、植林を行うと申し出ています。

質問 防災対策は、大丈夫か。

町長 このままでは、好ましいとは考えていません。

今後、行政指導を行い十分な対応を求めています。

質問 町へのメリットは。

町長 固定資産税の増加と維持管理の雇用が見込まれます。

「こがねすと」の運営は

ジオガイドの団体に

質問 「こがねすと」運営を来年度どのように考えているのか。

町長 ジオガイドの団体をお願いしたいです。

12月までに協議していきます。

さらなる子育て支援を

随時、検討

質問 さらなる子育て支援を。

町長 随時、検討します。



太陽光発電事業は十分な防災対策を

田子地区住民アンケートは

(町長) やる考えはありません



芹澤 孝 議員

質問 斎場建設の住民説明会の参加者は、4回の開催で延べ100人前後と十分な参加者といえなかった。

参加者の意見は否定的な意見ばかりで、賛成意見は皆無であったが田子地区住民の大多数の気持ちはどちらか判らない。

大多数の住民は、反対か賛成か、田子地区住民のアンケート調査をして、その結果に従うべきではないか。

町長 地区住民アンケート調査をやる考えはありません。

質問 実施しない理由は。

町長 明確な理由はありませんが、そういうもので行政の方針を決めるべきではないと考えます。

質問 住民の同意が得られるまでは、計画は進行しないのか。

町長 次の説明会では、誠心誠意お願いをして、同意が得られる努力をします。

その後どのような判断をするかについては、期日の決定はしません。

地籍調査完了は

40年後

質問 大災害後、土地の境界が判らなくなるので、地籍調査の重要性が再認識されているが、進捗状況は。

町長 平成29年度は中1地区の178筆、30年度は中1、2地区368筆の調査を実施、今年度は、中1地区の閲覧と2地区の一部調査を実施しました。

調査は津波浸水区域が対象ですが、大田子地区は調査済みなので、対象外とな

ります。

対象面積は3.179km²で調査完了は40年後を予想しています。

質問 地籍調査により、公図と調査面積が異なった場合、固定資産税が違ってくる。調査結果を庁内で共有し固定資産税の変更に対応できる体制はできているか。

産業建設課長 窓口税務課とは、連絡を密にして、対応していきます。

地籍の変更による固定資産税は過去に遡って精算することはありません。



住民説明会、理解は得られたのか

議会の動き

第1 常任委員会報告

6月26日に総務課・会計課の所管事務調査を実施しました。

総務課

人事管理について

職員の定数条例は、2町村合併当時（平成17年）の制定で169人となっていますが、現在の職員数は126人（男72人、女54人）となっています。

定数条例と現状職員数に差がありますが、賀茂郡内の人口比による町職員数では、比較的恵まれています。

今後、小中学校や認定こども園の統合により、子育て支援センターや放課後児童クラブへの職員配置換えも考えられます。

臨時職員は、平成31年度の単年度採用延べ人数で104人（一般事務職員・トイレ清掃員・海水浴場監視員など）となっています。

◎保育士などの配置換えにより職員年齢構成が偏らないように提言しました。



ごみ収集

入札結果表の確認について

入札結果表は、担当職員1名で入札書を確認し結果表を作成し、工事発注課に回送し公表し

ています。

公表前に記載内容の確認作業のために、担当課・関係課で再度確認作業を行い、公表することになりました。

職員採用について

本年度末の退職予定者は7人で、令和2年度職員採用予定者は、事務職員若干、事務職員（身体障害者）1人、土木職員若干、保健師1人、管理栄養士1人となっています。

『採用方法』

採用希望者に一次試験（教養試験）を受験してもらい、その合格者に町で二次試験（作文・面接）を実施。面接官（町長・副町長・教育長・総務課長）により作文の内容や採用判定基準採点表の各項目（服装・髪型・応答・言葉使いなど）により公平に審査され、採点基準表の合計点により採用が決定されます。

採用決定者でも他社等の試験も受けており、採用辞退をされることもあります。

◎合格通知が12月となっているが、二次試験を早め、通知を早めることができないか検討するように提言しました。

地方債残高と今後について

多額の事業費が想定されている事業は、学校統合・斎場建設・津波避難施設建設・橋梁長寿命化計画による橋梁整備などで、これら事業の財源は、補助金と借入金（起債）と自主財源に

なります。

起債は過疎債（最も有利な借り入れ）を利用したいが、借入額、地方債残高（未償還金）、基金（自主財源）の状況などにより、過疎債が借りられないことが想定され、条件の良くない起債借り入れとなる可能性があります。

今後の地方債残高と償還金シミュレーションでは、令和5年度に未償還額、9年度に償還金がピークになります。

◎そのほかの政策遂行に影響のない財政運営が求められます。

会計課

債券運用について

財政調整基金の運用による受取利息の増額を目的に、30年7月より債券購入による運用を開始しました。

債券は、東京電力パワーグリッド社債（電力債）、静岡県債（県債）、日本高速道路保有・債務返済機構の3件で、それぞれ2億円で合計6億円を運用しています。

一般的な定期預金の利子では、100万円にもなりません、30年度は409万円の利子収入となり、自主財源として活用されています。

◎低金利がまだ続くと言われていたときの運用としては、有利な運営であると理解しました。

7月25日に窓口税務課の所管事務調査を実施しました。

窓口税務課

マイナンバーカードについて

31年4月末現在の交付状況は県内順位1位で、人口8,160人に対し、交付数1580枚、交付率19.36%

となっています。

静岡県内の平均交付率は12.10%です。

確定申告時の申込み受付や担当職員が企業・団体へ出向いての申請申込み依頼を行った結果が表れています。

国は交付促進を加速させる方針で、令和3年には健康保険証としても活用できることを目指しています。

◎交付件数を増やすには、マイナンバーカードの必要性を理解してもらうことが大切で、従来の方法に加え、広報などで周知することも必要との提言をしました。

支所・出張所の利用実態について

職員配置は、宇久須支所に職員2名、安良里出張所に職員1名・臨時職員1名、田子出張所に職員2名で業務を行っています。

戸籍や住民基本台帳事務手続きに毎月400人程度が来庁されています。

職員不在の場合は、他課職員（宇久須：産業建設課、安良里：教育委員会事務局、田子：用務員）が窓口対応を行うことで、不便をきたさないようにしていることの確認をしました。

◎高齢化社会を迎え、マイナンバーカードを活用した交付手続きの検討も必要との提言をしました。



田子出張所窓口

第1 常任委員長 加藤 勇

第 2 常 任 委 員 会 報 告

7月30日に環境課、8月6日にまちづくり課の所管事務調査を実施しました。

環境課

斎場建設の今後のスケジュール

5月から、田子地区住民説明会を4回開催しました。

区長、区民からの意見、要望を取りまとめて条件案を検討した上で、改めて説明会を開催する予定です。

地元、近隣地権者の承諾を得たあと、基本構想を策定し、建設地が確定後、3年目を目標に稼働していくことを考えています。

◎町民の関心の高い課題であり、今後の進捗状況を随時、報告するよう提言しました。

最終処分場の次の候補地

現在、令和7年度までの利用が可能となっている状況ですが、今後、ガラス類の町外搬出などの延命対策を行ったとしても令和10年頃には満杯になることを想定しています。

次の候補地については、検討中です。

今後1市3町での広域ゴミ処理施設の協議をしていく中で、焼却灰などの処分についても検討していく予定です。

◎広域連携での協議進行状況を報告するよう提言しました。

クリーンセンターの現況

焼却炉の耐用年数は20年程度とされていますが、建設後、20年以上が経過しています。

大型改修などの長寿命化対策を行うことにより、35年から40年以上を目指して運営することが可能です。

また、下田市、南伊豆町、松崎町との広域ゴミ処理施設建設について、当町も協議に加わることを表明しています。



大型改修で長寿命化対策を

古着・ミックスペーパーの現状

平成30年7月から、今まで焼却していた古着やミックスペーパーなどを資源物として回収を始めています。

当初はクリーンセンターのみの受け取りとしていましたが、平成31年1月から本庁、支所、出張所の各窓口で引き取りができるような体制をとっています。

◎今後とも、焼却していた資源物の活用をすべく、住民への周知を図るよう提言しました。

野良猫対策

保健所が引き取らないため、保護しても受取り先がない状況で、町としても苦慮しています。

平成30年度から、野良猫などの増加抑制を目的として動物病院で行う去勢、避妊手術の補助をしています。

第2次西伊豆町総合計画のスケジュールについて

令和2年から11年までの10年間の計画です。平成30年9月に町民アンケート調査を実施し、まちづくり懇話会を経て、基本構想等の協議を開催しました。

今後、審議会を経て答申され、本年度中に策定予定です。

産地直売所の運営について

令和2年3月オープンに向け、伊豆漁協仁科支所の近隣で、新築工事が始まりました。

営業時間、職員の人数、仕様書等の未定部分

もありますが、今後、指定管理者制度による運営を計画しています。

◎これからの、販売の進捗状況の報告を求めたいと考えます。

第2 常任委員長 堤 豊



第1次産業の振興に

静岡県市町議会議員研修会報告

8月9日静岡市グランシップでおこなわれました。

講師に、人材育成コンサルタント株式会社ベレフレクト代表取締役太田彩子氏(内閣府子ども・子育て会議委員、日本政府主催国際女性会議「WAW」アドバイザーなどを歴任)を迎え「これからのキャリア支援・女性活躍・働き方改革の時代に必要なもの」と題した講演を聞きました。

キャリア支援の説明では、

- ①働きやすい職場
- ②働きがいを感じる職場の仕組み作りの考え方
- ③会社内で、組織的なキャリア支援をしていくこと
- ④女性社員を育成していくには、育児を両立させることが必要とのことでした。

従来は、女性社員に営業業務をさせることは無理があるとの考え方が多く、例えば、保険販売などは、女性が主流であった。

一方で、自動車販売などの販売促進を経験させると、トップの成績を上げ、活躍しているケース

の紹介もあり、最近、女性販売員の方が、注目されているケースもあるとのことでした。

仕事と育児の両立は注目度も高く、育児経験が仕事に役に立つ時代になったとのことでした。

◎キャリアコンサルタント(国家資格)の体験に基づく講演は、大変勉強になりました。

広報編集委員 堤 豊



専門的見地からの説明会

まら自慢の一品

西伊豆町の誇る自慢品をご紹介します。今回は「田子節」です。

田子節

田子の鯉節製造の歴史は古く、奈良の平城宮（長屋王屋敷）跡からは税として納めたことがわかる木簡が出土しています。いぶす際、手をかざして温度を確認する手火山式焙乾という独特の製法は田子で確立しました。江戸時代にはその味と品質の良さで商人は全品完全買い取り、田子の本枯れ節として名を馳せました。



その製法は煮熟後まず高温でいぶしうま味をぎゅっと閉じ込めます。その後、日を置きながら10回以上も焙乾を繰り返しじっくり水分を抜きます。焙乾とは煙と熱でいぶし乾かす工程です。更にカビ付けを数回行い水分と脂分をしっかりと抜けば、あの堅くて味の濃い田子節が出来上がります。カビ付け回数が多いので完成までに半年以上かかりコストも上がりますが、これが田子節の高品質の決め手です。焙乾には地元の薪を使うことが決まりです。田子の職人の技術は高くかつては全国を渡り歩く程引っぱりだこでした。田子にカツオが揚がらなくなり、冷凍カツオによる大量生産の波、富士田子の浦ヘドロ公害の風評被害などにより生産量は激減衰退してしまいましたが、その製法は受け継がれていて、現在4軒の作業場が稼働しています。田子の適度な湿気と西風がうま味を増します。今鯉節でとった出し汁は世界からも美味しいと注目されています。シャツシャツと削る乾いた音、そのままご飯にかけていただく田子節ネコマンマ、たまりません。

町内探訪 32

隠れた伝統工芸 漆工芸家



山本 進也 さん
(仁科在住)



仁科在住で賀茂郡下でも、唯一の漆工芸家として多方面で活躍する、山本さんにお話を伺いました。

質問 始めるきっかけは。

山本さん 高校（沼津工業）の卒業時に木工と漆塗りに興味を持ち、東京芸術大学漆芸科に進学して、仕事を覚えました。

質問 仁科での制作活動は。

山本さん 学生時代から漆の仕事をしていましたが、東京では手狭になり、実家を改装して仕事場にしました。

最初は作家というより下請け工房的で、その後独立して作品作りを始めました。

質問 制作のスタンスは。

山本さん 作品展に出品して賞を狙うより、漆工芸を広めたいです。制作期間は約4カ月で、塗り・乾燥・研ぎの作業が約20工程あります。

質問 今後の活動は。

山本さん 後継者がなく自分も高齢にもなり、マイペースでやっていきたいです。

[取材 増山勇・山田厚司]

令和元年10月15日 発行
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会
発行 静岡県西伊豆町議会
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL(0558)52-1962 FAX(0558)52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、お気軽にお聞かせください。 TEL：52-1962